

# 平成27年5月 マンスリー レポート

# 集計企業数 60 社

### ① 売上高・前年同月比

			全 店		既 存 店	
		売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売 上 高	前年同月比(前月)
総額		57, 907, 075 万円	100. 0%	107. 8% (109. 2%)	54, 722, 727 万円	105. 8% (107. 4%)
1	食料品	49, 151, 549 万円	84. 9% ( 84. 8%)	107. 9% (109. 5%)	46, 379, 069 万円	105. 7% (107. 4%)
	農産	7, 730, 070 万円	13.3% ( 13.0%)	112. 9% (111. 4%)	7, 233, 727 万円	110. 4% (109. 3%)
	水産	4, 727, 606 万円	8. 2% ( 8. 3%)	106.0% (108.0%)	4, 425, 489 万円	103. 4% (105. 7%)
	畜 産	5, 938, 769 万円	10. 3% ( 10. 4%)	108. 6% (110. 9%)	5, 528, 435 万円	105. 8% (108. 4%)
	惣菜	5, 512, 850 万円	9. 5% ( 9. 5%)	108. 9% (108. 7%)	5, 516, 468 万円	106. 7% (106. 3%)
	日配食品	11,001,296 万円	19.0% ( 18.8%)	106. 4% (107. 3%)	10, 300, 784 万円	104. 4% (105. 5%)
	加工食品	14, 240, 958 万円	24.6% ( 24.8%)	106.6% (110.4%)	13, 374, 165 万円	104. 6% (108. 7%)
	主活関連	3, 601, 191 万円	6. 2% ( 6. 5%)	110.0% (109.8%)	3, 436, 302 万円	108. 8% (109. 1%)
-	첫 料 品	1, 865, 420 万円	3. 2% ( 3. 0%)	103. 4% (104. 9%)	1, 807, 659 万円	104. 1% (105. 6%)
4	その他	3, 288, 916 万円	5. 7% ( 5. 7%)	105. 7% (107. 2%)	3, 099, 697 万円	104. 5% (106. 1%)

## 2 数 値

全店総売上高	57, 907, 075 万円	店舗数	4, 789 店舗
総売場面積	9, 368, 863. 4 m²	総従業員数	258, 137 人
店舗平均月商	12, 091. 7 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,844.1円(103.0%)
月間㎡売上(前月)	6.2万円 (5.9万円)	平均店舗面積	1, 956. 3 m²
月間坪売上(前月)	20.4万円(19.4万円)	パート比率(前月)	77. 6% ( 77. 5%)

注)総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

# ≪ 全体概況 ≫

- ・5月は全国的に気温がかなり高くなり、月間日照時間は北日本太平洋側では平年比 133%、 東日本日本海側では平年比 139%となり、1916年の統計開始以来 5月としては最も多い 日照時間(記録更新)となった。
- 一方、降水量については東日本太平洋側では平年の約半分とかなり少なかった。
- ・昨年に比べ日曜日が1日多い状況下で天候にも恵まれたうえ、生鮮の相場高、消費税増税 の反動減の落ち着きもあり、全般的に良好に推移した。

# ≪ 商品動向 ≫

#### ○農産

- ・キャベツ、レタス、ほうれん草、トマト、胡瓜などの相場高により売上伸長。 キャベツなどは単価上昇により1/2カットの需要が増加。
- ・昨年不作であったアメリカンチェリーの売れ行きが好調、キウイフルーツの動きも良好。

#### 〇 水 産

- ・気温上昇もあり刺身は引き続き堅調。地物(あじ、めばる、きすなど)も好調。
- ・貝類の入荷が安定し売上寄与。

#### ○畜産

- ・国産豚および輸入牛の相場高の継続もあり牛肉、豚肉ともに好調。 豚肉では冷しゃぶ、焼き肉などの売上が伸長。
- ・消費の二極化から高価格帯の商品や高級部位などにも需要あり。

#### ○惣菜

- ・サラダや涼味系 (うどん、そばなど) 商品の動きが堅調。
- ・鶏から揚げ、餃子などの定番商品も好調。ドーナッツなども投入。
- ・GWや母の日もあり、にぎり寿司も好調。

#### ○ 日配·加工食品

- ・乾麺、飲料、ビール、アイスなどの涼味系が伸長。一方でパンの動きは今ひとつ。
- ・乳酸菌飲料、機能性ヨーグルトやプレミアムオイルが引き続き堅調。
- ・牛乳などの乳価改定関連カテゴリーは単価アップが売上に寄与。 (牛乳は無調整牛乳から調整牛乳へのシフトが加速)
- ・一部にはバターの品不足感が出始めており、今後の影響を注視。

#### ○「母の日・子供の日」について

- ・スイーツは高単価商品(堂島プレミアムロールなど)を強化したことが奏効、売上伸長。
- ・ギフト関係は若者中心に店頭受付からウェブに移行。
- ・にぎり寿司や定番のカレーは概ね好調。柏餅、ちまきなども例年維持。

#### ○「その他」について

- ・GWもあり比較的大容量サイズの動きが良好。
- ・昨年の消費増税後の状況と比べると春の商品値上げ対応も含め全カテゴリーが例年並みに 戻った感あり。

以上